

認知症在宅介護者のつどい

認知症の人を介護されている方を対象とした学習と情報交換の場です。

ご本人・介護者家族の悩み事などを解消するための手助けとなり、その方たちが、住み慣れた地域で安心して生活しやすくなることを目的としています。

- 日 時：令和5年2月28日(火) 10時00分～12時00分(受付9時30分～)
 - 場 所：今治市総合福祉センター4階 多目的ホール (今治市南宝来町1丁目9-8)
 - 内 容：講話・DVD鑑賞(その人のパーソナルソングを見つけよう) 座談会
 - 講 師：真鍋 誠子氏(今治看護専門学校 副校長)
 - 対 象：今治市にお住まいで、在宅で認知症の高齢者を介護されている方
認知症高齢者を介護されている方、または、介護経験者でアドバイスいただける方
 - 申込締切：2月21日(火)
- 〈お問合せ・申込み先〉今治市社会福祉協議会伯方支部(担当：村上) TEL:0897-74-2123
～☆新型コロナウイルス感染対策へのご協力をお願い☆～
- ・当日はマスクの着用してください。(当日、入口で検温・消毒をお願いします。)
 - ・感染拡大地域に訪問、家族等が訪問した場合はお申し出ください。

「おって」サロンのご案内

毎月1回、しまなみ交流プラザで「おって」サロンを開催しています。介護者や介護の必要な方達で、お互いに日ごろの悩みや不安を語り合い、情報交換や気分転換をしませんか?

新規の参加者募集中です☆

- 日 時：2月9日(木) 3月9日(木) 13時30分～15時30分
 - 場 所：今治市しまなみ交流プラザ会議室2
 - 内 容：茶話会、簡単な体操、昔遊び、脳トレなどを行っています。
- ※事前申し込みは必要ありません。お気軽にご参加ください。
※新型コロナウイルスの影響により開催が中止の場合があります。

〈お問合せ先〉今治市社会福祉協議会伯方支部(担当：村上) TEL:0897-74-2123 FAX:0897-74-2126

島しょ部巡回相談のお知らせ

障がいに関わる生活相談や福祉サービスに関する相談を行っています。
予約は不要です。ご本人、ご家族の相談にも応じます。お気軽にお越しください。

- 日 時：2月16日(木) 3月16日(木) 13:30～16:00
- 場 所：伯方福祉センター1階 相談室
- 問合先：今治市社会福祉協議会 今治市障がい者生活支援センター
TEL:0898-23-1747 FAX:0898-22-8441

まごころをありがとうございました

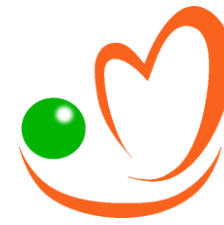
(令和4年7月1日～令和4年12月31日)

今治市社会福祉協議会伯方支部へご寄付いただきました。厚くお礼申し上げます。
お寄せいただいたご芳志は、伯方支部の地域福祉事業のために活用させていただきます。

[現金] 馬越 律江 様



今治市社会福祉協議会



はかた 支部だより

★★★ 第102号 ★★★

発行日 令和5年2月1日
発行所 今治市伯方町木浦甲3930-1
今治市社会福祉協議会 伯方支部
電話：74-2123
FAX：74-2126



共同募金、歳末たすけあい、社協会費
ご協力ありがとうございました

「赤い羽根共同募金」1,351,249円

10月～12月まで行われた赤い羽根共同募金は、皆様の多大なご協力をいただき多くの募金(1,351,249円)が集まりました。この赤い羽根共同募金は令和5年度の地域における福祉活動やボランティア団体の活動等に活用されます。また大規模な災害が発生した場合には、都道府県の域を超えて全国の共同募金会が災害等準備金を拠出しあい、被災地を支援します。

募金にご協力くださった皆様、団体、学校、企業の方々に厚くお礼申しあげます。大変ありがとうございました。



「歳末たすけあい募金」81,499円

12月に実施されました歳末たすけあい募金運動については、皆様の温かい心の募金(81,499円)が寄せられました。配分については民生児童委員協議会において審議を行った上で、民生委員さんの手から、地域の高齢者世帯に見舞品をお届けしました。



「社協会費」890,800円

10月より、自治会及び民生委員の方々に社協会費のとりまとめについてご協力をいただき、地域の皆様より890,800円の会費が集まりました。厚くお礼申し上げます。

皆様からご協力頂きました会費は、福祉教育、配食サービス、見守り活動など地域の福祉事業を支える大切な財源として活用させていただきます。

※※この「はかた支部だより」は、住民・法人からお寄せいただきました赤い羽根共同募金・社協会費により発行しています。

伯方小学校6年生 福祉体験学習

12月12日に、伯方小学校6年生と一緒に高齢者疑似体験を実施しました。小学生が普段から生活しているなかで、体験セットをつけたらどのように違うかを感じてもらいました。視界が狭くなったり、身体が思うように動かなくなったりすることを体験することができました。階段の上り下りの際には、サポーターさんが体験者に「あと何段あるよ」と声掛けができていました。

体験した6年生からは、これからは困っている人がいたら声をかけてサポートをしていきたいと言ってくれました。

今回学んだことを活かして、お互いに支え合い、みんなで助け合える伯方町になってほしいと思います。



地域でつながる防災ウォーク！



12月18日に伯方児童館と共催で、地域でつながる防災ウォーク！を実施しました。小学生、保護者、高校生、有津地域のみなさんに参加していただきました。しまなみ振興局の岩本将司さんに「伯方島でできる防災」についてお話していただきました。グループに分かれて防災工作を行いました。また、伯方児童館の周辺をみんなで歩き防災ラジオの確認やアルミシートを着用してみたり、高校生にクイズを出してもらったりと伯方の災害について学ぶことができたと思います。これから子どもたちと一緒に、今回学んだことを防災マップに作成していく予定です。

災害はいつ起こるかわかりません。日頃からの顔の見える関係づくりを大切に災害が起きたときにお互い支え合えるようにしていけたらと思います。参加してくれたみなさんありがとうございました。



伯方島 子育て サポート最新情報

子ども第三の居場所 ちんじゅのもり

令和3年10月より、子どもが地域でのびのびと生きていく力を身につけるための学びの場「ちんじゅのもり」をNPO法人創作クラブ Grian が運営しています。

プログラムの一つ『こどもキッチン』(平日夕方)は、園庭の野菜収穫や、包丁やキッチンバサミを使って一人一人のやってきたいこと・できることを合わせてみんなで夕食を作ります。食器や材料の計算、洗いもの、もちろ季節の食べ物を味覚で感じるなど『こどもキッチン』にはたくさんの学びが組み込まれていて、子どもたちの達成感と笑顔が食事の場をより楽しくしてくれます。

家庭でごはんを一緒に準備すること、家族以外の人と食卓を囲むことが少なくなっていますが、普段の生活から子どもたちが自身の経験を通して学ぶ機会が少なくなっている今だからこそ、地域で楽しく学ぶ経験の場があり、子どもたちの自立力につながる場にもなります。

『こどもキッチン』は市内のフードバンクや食材の寄付で成り立っており、大人は 300 円で参加可能です。一緒に調理したり、食事をすると子どもたちから元気をもらえますよ。

ちんじゅのもりでは、ボランティアを募集しています。実際にボランティアに参加した方より…

子どもとの関わりがあまりなかったのですが、参加してみると子どもたちから話しかけてくれたり、いろいろなことを教えてくれたりしてくれました。子どもたちの考えは、頭が柔軟で発想がおもしろく自分にはないものを持っているのでとても刺激になります。また、子どもだけでなく、お母さんたちとも繋がることができ横のつながりが広がります。子どもたちは学校での学びも大切ですが、ちんじゅのもりで多世代の方と交わり、子どもと一緒に学べる場所はとても貴重です。つつい行きたくなる、ちんじゅのもり。ボランティアは、ちょっとしたスキマ時間でも大丈夫です。みなさんよかったですら、一度行ってみてください！

子ども第三の居場所 ちんじゅのもり 月金曜日 15-19 時(祝日除く) 土曜日 14-17 時

問合せ NPO 法人創作クラブ Grian

連絡先 070-1920-4662(月金土)

公式 Line @111yjsfa

創作クラブ
Grian



HP



Instagram

介護予防教室

11月30日、12月14日に北浦地区と木浦地区の老人クラブのみなさんと介護予防教室を開催しました。あすなるの理学療法士の方をお呼びして、フレイル予防についてお話や体操を行いました。今回学んだことを日々の生活に活かして、元気な伯方町になっていただけたらと思います。次年度は、有津地区と伊方地区で開催予定です。お楽しみに！！

